

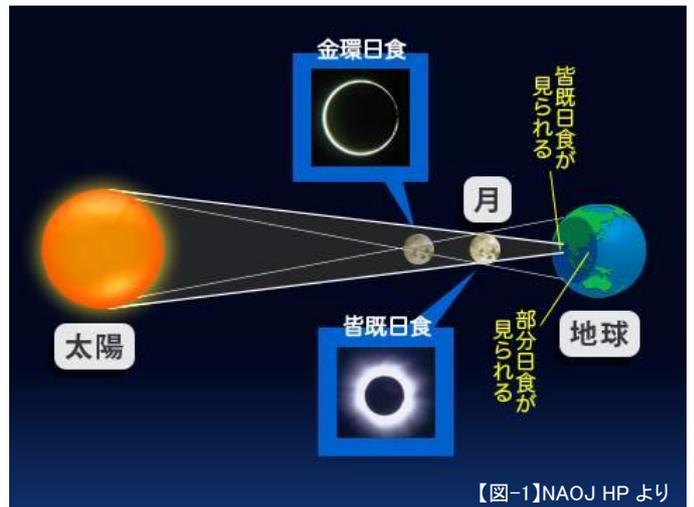
# 日食の話(1) 皆既日食

2020.05.16 星のお爺様

日食が太陽と月と地球が一直線に並んだ時に起きることは、昔、理科の時間などで学んだと思います。

いつも空に輝いている太陽が急に欠けて世界が暗くなる。天文の知識がない昔の人々にとって日食は大変恐ろしい出来事だったに違いありません。世界各地に残る神話や伝説の中に、これは日食のことではないか、と思われることがいくつかあり、日本の天岩戸神話もそのひとつです。

太陽が完全に隠れる皆既日食は、条件によって異なりますが数十秒から数分間続き、その間に、ダイヤモンドリング、コロナ、プロミネンスなどさまざまな現象が観測できます。



ダイヤモンドリング

2016.03.09 07:22 撮影地: インドネシア バンカ島

日食は平安時代のころからかなりの精度で予測されていました。

1183年11月17日、この日は水島で源平合戦がありました。当時、京を追われた平家は西へ落ちていきました。途中水島で源氏である木曾義仲軍と対峙したのが水島の合戦です。この合戦では木曾義仲軍は敗走し、平家が源氏に勝利しました。そしてこれを機に、平家は一時的に勢力を盛り返したのです。「源平盛衰記」によると、この戦いの最中に日食が起って「闇夜の如くになりたれば…」となったのだそうです。当時、平家は公家として暦を作る役を担っていたことから日食が起こることを予測しており、それを戦闘に利用したのではないかと、この説があります。

倉敷市の源平合戦水島古戦場にある碑には日食が起きたことを表わす黒い大きな丸が刻まれています。源氏の木曾義仲軍は“コロナ”に恐れおののいて敗走したのでしょうか。



太陽表面から宇宙空間に伸びるコロナ

2017.08.21 11:40 撮影地: ワイオミング州キャスパー市



水島古戦場の碑  
倉敷市観光 HP より



太陽表面から立ち昇るプロミネンス  
2010.07.11 14:08 イースター島